

No.140 2015 JULY

平成27年7月17日発行



愛と復興

## 役場新庁舎

予定価格との大幅かい離で不落… 2

米農家の生産意欲を支援…………… 4

JR只見線全線復旧に向けて…………… 6

只見町議会が優良町村議会表彰受賞  
…………… 7

# 只見 議会だより



発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222

E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



夏の到来、プール開き（6.24只見保育所）

# い離で不落

予定価格 **13億7052万円**  
 入札金額 **18億6300万円**  
 差額 **4億9248万円**  
 (いずれも税込金額)

6月会議最終日の6月19日、全員協議会が開催され、役場新庁舎の入札結果について、当局より説明がありました。町の予定入札価格と実際の入札金額に大幅な乖離があり不落(\*)となりました。

ここでは、乖離の原因についての説明概要をお知らせします。

(\*)最低入札金額が予定価格を上回り、入札が成立しないこと。

## 設計価格と入札価格の乖離要因

項目	金額差(税込)	要因
1 鉄骨 直接工事費 工場製作費	1億8200万円	トラスの部材点数が多く、加工に手間がかかるため、製作費に跳ね返っている。メーカーによって加工手間の見積りに差があると思われ、それが金額差につながった。
2 共通仮設費 機械器具費	4000万円	トラス構造の施工のために100tクレーン及び補助クレーン(50t、25t)を使用することで約4000万円かかっている。
3 冬期施工 共通仮設費 準備費 工事施設費 仮建物費	3700万円	除雪費に3000万円、現場仮囲いの撤去・再設置手間で200万円、雪養生に500万円かかっている。施工期間が冬期に及んでいることが原因。
4 工期 共通仮設費 全般	1億700万円	冬期間をまたぐことで工期が長くなり、現場の進捗に対し現場事務所、仮設資材、機械器具等リース料の掛かり増しが発生している。
5 現場管理費 全般	9300万円	冬期間をまたぐことで工期が長くなり、現場の進捗に対し労務管理費、保険料、従業員手当、福利厚生費等の掛かり増しが発生している。
6 単価 直接工事費 全般	3300万円	県単価(設計単価)と市場単価の差。
<b>合計</b>	<b>4億9200万円</b>	

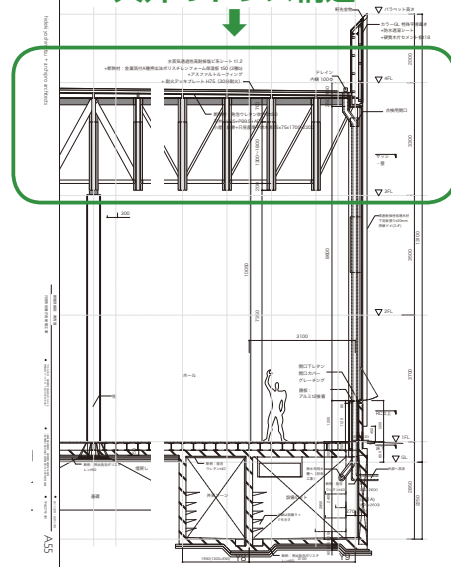
### 乖離価格の3大原因

- ①天井部分のトラス構造 (注)
- ②積雪期間の工事費用 (主に共通仮設費)
- ③工期に係る費用 (共通仮設費、現場管理費)

(注)トラス構造

三角形を単位とした構造骨組(梁)の一種。力学的に通常の梁構造よりも細い部材で大きな荷重を支えることができ、変形しにくいいため、柱の少ない大空間を実現するのに適している。

天井のトラス構造



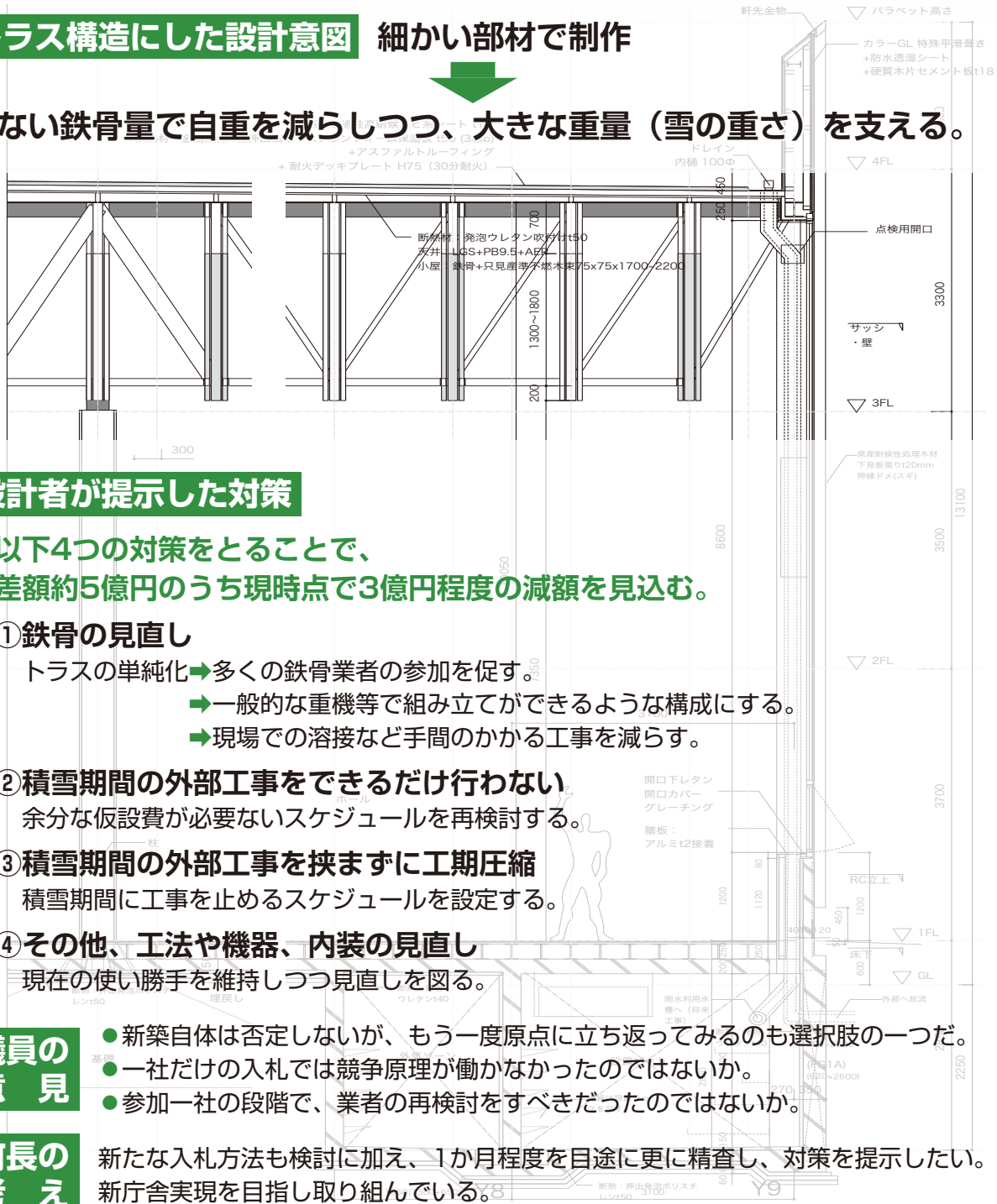
<1階立面図>

# 予定価格との大幅か

## トラス構造にした設計意図 細かい部材で制作

少ない鉄骨量で自重を減らしつつ、大きな重量（雪の重さ）を支える。

→天井のトラス構造



## 設計者が提示した対策

→以下4つの対策をとることで、差額約5億円のうち現時点で3億円程度の減額を見込む。

### ①鉄骨の見直し

- トラスの単純化→多くの鉄骨業者の参加を促す。
  - 一般的な重機等で組み立てができるような構成にする。
  - 現場での溶接など手間のかかる工事を減らす。

### ②積雪期間の外部工事をできるだけ行わない

余分な仮設費が必要ないスケジュールを再検討する。

### ③積雪期間の外部工事を挟まずに工期圧縮

積雪期間に工事を止めるスケジュールを設定する。

### ④その他、工法や機器、内装の見直し

現在の使い勝手を維持しつつ見直しを図る。

## 議員の見

- 新築自体は否定しないが、もう一度原点に立ち返ってみるのも選択肢の一つだ。
- 一社だけの入札では競争原理が働かなかったのではないか。
- 参加一社の段階で、業者の再検討をすべきだったのではないか。

## 町長の考

新たな入札方法も検討に加え、1か月程度を目途に更に精査し、対策を提示したい。新庁舎実現を目指し取り組んでいる。

町当局より対策の提示があり次第、号外でお知らせいたします。

# 米農家の生産意欲を支援

## 修正予算

6月会議は15日から19日までの5日間の会期で行われました。

議案として条例制定及び改正が5件、契約議決1件、財産取得4件のほか、一般会計及び各特別会計補正予算、平成26年度専決処分報告など総数21件が提出され、審議の結果、すべて原案通り可決しました。審議内容を要約してお伝えします。

### 質疑応答

水稲生産意欲向上  
支援緊急対策

315万円

26年度米価  
下落による支援策

**問** 新補助金である種子代補助はどのように内部検討されたか？

**答** 現在、補助金適正化委員会があるので、庁議で検討し適正と判断した。

**問** 経済活動への補助金として適正なのか？

**答** 昔からの産業基盤をどうしていくかが今後一番の課題であり、しっかりとした対策をしていきたい。

只見振興センター  
新築工事実施  
設計委託料

4022万8000円

**問** 建設規模に対して町民より陳情が出されているが？

**答** 建設検討委員会の中間答申が出され、旧センター跡地にコンパクトな建設をする方向で動いている。

介護予防体操  
制作委託料

75万  
6000円

**問** 作成後の活用策は？

**答** 各集落で各種の取り組みをされているサロン等で、ブナりんソングに合わせた運動で健康づくりに役立ててほしい。

3保育所の  
マイマイガ対策

27万円

**問** 保育所はもちろん、学校等の対策を早急にお願したい。

**答** 効果的な対策は難しいが、情報を取りながら出来るだけの対策をしていきたい。



小川地区で行われる「小川いきいきサロン」の状況



隣接する町で行っているシルバー人材センターの活動状況

高齢者の  
社会参加促進  
モデル事業  
(シルバー人材センター)

100万円

**問** 組織運営は今後どのように考えているのか？

**答** 県連合会の指導を受け社会福祉協議会をお願いしたい。



マイマイガの幼虫写真

新規・改正

# 条例

## あれこれ

### 財産取得

経年劣化しているため、除雪ロータリー車2台、タイヤドーザー2台を購入し、更なる除雪体制の充実を図るものです。

除雪ロータリー2台

購入金額 約7400万円

タイヤドーザー2台

購入金額 約3800万円



町所有のロータリー除雪車（整備前）

### 「ふるさと館田子倉」設置条例

町の発展にとって切っても切り離せない田子倉集落の歴史を後世に伝え、多くの人に只見の歴史を知ってもらうため、田子倉出身のみなかわわたる皆川弥郎を購入して、資料館を設置する条例が議決されました。開館後の管理は町の直営で行なわれます。



現状の「ふるさと館田子倉」

### 国民健康保険条例

平成27年度の国民健康保険税が、以下により提案されました。

#### 町当局

少子高齢化で支える人が減り最低限の引き上げであるので了承願いたい。

「国税」負担増へ 賛成者…10名

反対者…1名

#### 反対討論

山岸議員 四年連続増税となり町民負担が益々増えるので反対。

(金額単位：円)

	医療分		比較増減	支援金分		比較増減	介護分		比較増減
	27年度	26年度		27年度	26年度		27年度	26年度	
所得割	7.10%	6.51%	0.59%	1.00%	1.06%	△0.06%	2.37%	2.47%	△0.10%
均等割	27200	26400	800	4000	4000	0	10800	10800	0
平等割	21000	18300	2700	2500	2500	0	6300	6300	0
平等割 (特定世帯分)	10500	9150	1350	1250	1250	0			
平等割 (特定継続世帯分)	15750	13725	2025	1875	1875	0			



ガンバレ！南会津 4月8日の南会津高等学校入学式。ピンとはった空気、みんな緊張の面持ちで入場、校長先生は只見町出身の吉津校長先生、奥会津には今三つの県立高校がありますが、それぞれの学校がそれぞれの持ち味で存続していかなければなりません。

# 議会活動 レポート

## 只見線全線復旧に向けて

戦後、国策として現在の田子倉ダム建設をし、その資材運搬用に敷かれた鉄路が只見線です。只見線の全線開通までには地域先人の大変な努力があったことを忘れてはいけません。

# 「鉄道軌道法」 早期改正を求めて



国会議員に要望書を提出

5月11～12日、議員全員で、「赤字ローカル線災害復旧等を支援する議員連盟」の国会議員（当時63名全員、現在145名）に、<sup>(注)</sup>「鉄道軌道法」の改正を早急に進めてもらえるようお願いしてきました。赤字を理由に、被災したまま復旧されず廃線に追い込まれることは、地方創生を考える今、国のあり方としての重大な問題であり、只見線だけの問題ではありません。

(注) 現在の法律（「鉄道軌道法」）では、JR東日本のような黒字会社に国は財政支援ができません。それを、災害等で不通となった赤字路線に関しては、会社本体が黒字であっても国が復旧額の1/4を支援できるようにすることで、赤字ローカル線の復旧を促すための法改正です。

### 議会の動き

議会活動として、今まで新潟県魚沼市議会や金山町議会を含む奥会津五町村議会との協議を重ねてきました。JR只見線を観光路線として活用した地域振興策を図っていきたいと考えています。

### 住民の動き

「JR只見線全線再開通に向けての検討会」が、6月26日（土）の夜開催されました。参加者は25名（うち参加議員6名）でした。

**結論** 住民がもっと声を上げて住民運動にし、マスコミを動かして赤字ローカル線の全国運動にしていかなければ、JRは動かない。まずは、住民運動・大会を興すための戦略を練り、行動につなげていこう。



検討会の様子



ようこそエコパークの町へ 4月8日、只見高校に新たに16名の山村留學生が入学されました。遠くは関西から来た生徒もおり只見町で3年間、勉強やスポーツに励むこととなります。只見高校でたくさんの思い出をつくってほしいと願います。

# 只見町議会 優良町村議会表彰を受章!



記念品(上)



町村議会議長会会長から表彰を受ける只見町議会議長

6月5日に開催された福島県町村議会議長会定期総会において、只見町議会が「優良町村議会」として表彰されました。

## 〈表彰を受けた理由〉

国の地方分権改革の推進と同時に、地方自治法の改正に伴う議会機能の充実と強化を目指して、次にあげる議会運営改革と改善に取り組んだことが評価されました。

### ①通年議会制度の導入

…平成21年6月から、全国に先駆けて試験的に導入。

平成24年に現在の体制になりました。

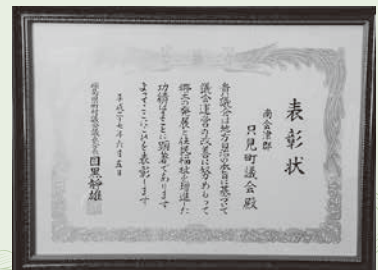
### ②議会基本条例の制定…平成24年3月制定

### ③広報広聴活動の充実化による開かれた議会活動の推進

議会中継のインターネット配信…平成26年6月会議から

議会ホームページ開設……………平成26年4月リニューアル

議会報告会の開催……………平成24年10月から6回開催



## 「安全保障関連法案」の徹底審議を求める意見書を提出

今、国会で審議されている同法案は、平和憲法下の国の基本政策を大転換し、平和国家日本を根本から変えるものです。只見町議会では到底認めることはできないとし、この法案の徹底審議を求める意見書を全会一致で採択し、提出することとしました。

(※意見書原文は、議会ホームページで確認できます。)

# 町民のなまの声を届けます！

3月会議後に開催した今回の議会報告会は、前回に引き続き、議員と町民との意見交換の時間をより確保できる形で行いました。頂いたご意見等は、今後の議会での一般質問や議会質疑、常任委員会での討議等で町政に反映すべく努めて参ります。

## 役場庁舎建設計画

◎地元建設業者による入札制度で対応してほしい。

て借りたらいいのかわからない。町で対応できるルールやシステムを作るべき。

## 道路整備

◎朝日地区の小中学校への入り口道路の整備はなぜ進まないのか。

## JCOM見線

◎住民参加ができておらず、設計者の顔が見えない。議会の対応やチェックが甘い。責任をもっと感じてほしい。

◎復旧要望活動の今後のあり方として、町民集会等住民運動をしてマスコミを動かさないとダメだ。

## 道の駅

◎やる気があるのかいのか、見えてこない。

◎只見線が不通になって通院が不便だ。

## 空き家対策

◎空き家条例制定後の空き家対策は、有効な対応をしてほしい。

## 豪雨災害復旧工事

◎河川堤防復旧について、県にしっかりと対応を望む。

◎叶津から五礼までの工事の進捗状況が悪い。

## 高齢者福祉

◎高齢者の生きがいづくりの一環で、シルバー人材センターの導入が必要だ。

◎高齢者の一人暮らしで不便な「ゴミの収集」について対応してほしい。

◎介護福祉士の仕事は大変な割りに収入が低すぎて、すぐに辞めてしまふ。収入増を図るべき。

## 豪雪対策

◎豪雪で困っている町民に対する町の対応が親身でない。もっと町民目線で親切的な対応をしてほしい。

◎（特に住宅と公民館の間の道路）、不便を感じている。設置・維持費用共に集落負担なく設置できるようにしてほしい。

◎町道の除雪が大雪時には十分でないため車の出し入れができず、外出もままならない。積雪量の多い地域ではより頻度高く除雪してほしい。町への苦情相談や豪雪対策本部の利用方法がよくわからない。

# の懇談会

## 5/18・19・20 町内5会場で開催



5月18日 八木沢集会施設



5月19日 明和振興センター



5月18日 朝日振興センター



只見町の守りは大丈夫！ 4月26日、只見町消防団春季連合検閲式が行われました。団員150名、婦人消防隊27名、消防ポンプ自動車3台、積載車9台が参加し、ポンプ操法訓練などが披露され、「町の守り」の安心を確認できました。



# 議会報告会

# 町民と議会



5月20日 二軒在家集会所施設



5月20日 只見復興センター



明和地区で行った「小林館跡歩道整備」に参加された皆さん

## 地域・集落umma

◎交付金事業の支援のあり方を、もっと使い勝手のいい自由度の高いものにしてほしい。

◎普請は集落全員参加でやっているが、限界に近い。

◎サロン等の集落コミュニティを定期的に実施したいので、より手厚い財政的支援をしてほしい。

## 人材活用

◎もっと若者が町に残れるようにしてもらいたい。

◎ふるさと只見会は、町の応援団になれる存在だから、もっと積極的な対応をしてほしい。

## 議会

◎只見の水を活用した事業の推進をしてほしい。

## まちumma

◎町は、将来の全体計画の目標値を、町民に分かる形で提示してほしい。

◎若い世代の人が中心に

## 観光振興

◎教育旅行の誘客活動を増やし、より充実させてほしい。

◎外部からの人を意識した受け入れ体制をもっと敷いていくべき。飲食店等の営業時間の再検討や、おもてなしの推進を。

◎10年後、20年後の只見町の姿、ビジョンを示してほしい。今は何も見えない。夢も持てない。

◎観光誘客のため、看板の再検討をすべき。田島から只見方面へ向けての田島にある県の252号通行不能の看板は、無駄に町内への流入者を排除しており、配慮が必要だ。

◎若者が町に残れるようにしてもらいたい。

◎ふるさと只見会は、町の応援団になれる存在だから、もっと積極的な対応をしてほしい。

◎若い世代の人が入れる、魅力的な会にすべき。

◎町の将来を左右するのは人づくりに尽きる。計画的に、町づくりに沿った人材育成、人材確保が急務だ。

◎議会機能がとしての審査・決議は、もって町民にわかる形で示してほしい。議員としての勉強をもっとしてほしい。

◎議会報告会が毎回工夫されて、和やかな会

進行になった。これから先も、若者たちが参加しやすい、意見交換ができる会にしてほしい。

◎議会の責任は重い。町当局は、常にルールに従って政策・施策を議会に提案している。その案件を採択したのは議会だ。議会の決定により町の政策実現がされているという認識をもっと持ってほしい。

## 議会とまちづくりについて意見交換しませんか

町内のあらゆる団体や集まり等で、ご希望の日時と場所をお申し込みいただければ、議会が赴いて意見交換を行ないます。町民の皆様の積極的なお申し込みをお待ちしております。

新会長決まる 5月8日開催の只見町商工会総代会は、会長選任の議案が提案され目黒長一郎さんが全会一致で新会長に選任されました。中心市街地活性化の取り組みが当面の課題です。



# 陳情 請願

## 新たな陳情・請願

### 1 防衛省自衛隊第2施設団第11施設群誘致に関する意見書提出の陳情

提出者 会津地方自衛隊駐屯地誘致期成同盟会 会長 手代木和之 てしろ ぎかずゆき

→ 4月会議において、総務厚生常任委員会に付託。

継続  
審議

理由

平成25年度に同様の内容で提出され、当議会では不採択とされている。今回の陳情内容が前回と同様であることや、国の安全保障が混沌としている中で正しい判断が難しく、もう少し時間をかけた審議が必要と判断したため。

### 2 只見町農業政策に関する請願書 (紹介議員：佐藤孝義)

提出者 只見町農業委員長 渡部旦明 わたなべたんめい

国の農政改革により、農業を取り巻く環境が厳しくなり、新たな町の支援策を求める請願が農業委員会より出されました。

→ 4月会議において、経済文教常任委員会に付託。

継続  
審議

理由

町の新たな農業政策の検討と合わせ、今後審査を進めていくため。



水田作業風景

## 継続審議中の陳情

現在只見振興センターの建設計画に対して、既存施設の活用を図り、建設を反対する住民要望とホール面積などの充実を盛り込んだ文化センター的建設を求める住民要望が陳情として出されています。今後、住民で組織されている建設検討委員会の最終答申を踏まえて委員会としての意見を取りまとめます。



5月14日 只見振興センター建設検討委員会協議状況

#### ① 只見振興センター建設反対の陳情

提出者

人口減少社会を生きる只見町民の会17名

理由 旧只見中学校の今後の活用方針が出されない中で建設反対の陳情であり、当局の方針が確認出来ないため。

#### ② 只見振興センター建設に伴う施設の充実に関する陳情

提出者

只見区長 菅家二千六 かんげ ちとむ 他9名

理由 建設検討委員会では、2つの振興センターと同規模でコンパクトな施設建設での協議が進んでいる。また、中心市街地活性化事業との整合性も検討すべきであるため。

#### ③ 文化ホール建設反対の陳情

提出者

人口減少社会を生きる只見町民の会17名

理由 「只見振興センター」建設に伴う施設の充実に関する陳情」の行方を見て協議するため。

\* 集会施設の用地基準見直しに関する陳情書は、陳情者から取り下げが提出され、6月会議において取り下げを議決しました。

# 6月会議一般質問

## この町を想い、町政を問う。

### 9人の議員が登壇



#### ■ 大塚純一郎 ..... 12

- ・ 八十里開通に向けた施策は
- ・ 朝日学校通学路の整備促進を

#### ■ 小沼 信孝 ..... 13

- ・ 放射性物質検査はどうした
- ・ 風評被害にどう取り組んでいるか

#### ■ 目黒 仁也 ..... 14

- ・ 健康スポーツパーク構想の実現を
- ・ 世界遺産登録推進を戦略の目玉に

#### ■ 酒井 右一 ..... 15

- ・ ハードの建設より福祉を

#### ■ 石橋明日香 ..... 16

- ・ 町道除雪不足地域の改善を

#### ■ 新國 秀一 ..... 17

- ・ 只見川整備計画の説明を聞いているか
- ・ ユネスコエコパーク登録後の効果は

#### ■ 藤田 力 ..... 18

- ・ 空き家対策審議会委員の委嘱は
- ・ 町内の川に魚がいないのでは

#### ■ 鈴木 征 ..... 19

- ・ 旧只見中学校を奥会津学習センターに
- ・ 振興公社の今後の運営は

#### ■ 山岸フミ子 ..... 20

- ・ 人口減対策に注力すべき

※1 議員1ページの割り当てとなっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。詳しい内容については、議会ホームページの議会中継からバックナンバーにて中継動画を掲載しておりますので、ご覧ください。



**地方創生と広域行政のあり方** 5月14日、南会津地方町村議会議長会総会が開催され、新年度事業計画等が審議されました。恒例の郡議員大会において、各町村が抱えている課題を国・県に要望することとして、とりまとめを各町村議会に通知することを決定しました。

おおつか じゅんいちろう  
**大塚純一郎** 議員



# 八十里開通に向けた 施策は

**答** 地域資源を生かした  
取り組みを図る

**問**

国道289号  
「八十里越」の  
新潟県三条市下田地区  
への暫定的開通が現実  
的に見えており、只見  
町の将来的影響につい  
て、町民の話題になっ  
ている。

完全な全線開通まで  
に町としてやらなけれ  
ばならない施策、政策  
を町長と議会、そして  
町民と一緒に議論しな  
ければならない。現在  
の閉塞状況にある我が  
町で最後の切り札は  
「ユネスコエコパーク

児童・生徒の安全確保はスピード感を持ってやってほしい。

議員の  
つぶやき

**答**

国道289号の  
全線開通には大  
きく期待しているが、  
一方で懸念もある。そ  
れは、更なる人口流出  
(ストロー現象)と、そ  
れに伴う就業人口の減  
少による産業の停滞並  
びに山菜や植物等の盗  
掘等犯罪の広域化であ  
る。対策としては、中  
心市街地活性化事業な

登録を契機とした只見  
町の創生」であり、国  
道289号の全線開通  
だと思ふ。現在進行形  
の具体的な施策の内容、  
進捗状況を示せ。

**問**

只見町の3つの  
中学校が統合さ  
れ、朝日地区に「新只  
見中学校」が設立され  
て8年以上の期間が過  
ぎた中、国道289号  
からの通学進入路の整  
備計画が進まず、安全  
確保がされていない。

「空き家等の適正管理  
条例」を制定された中  
で、積極的な対応をお  
願いしたい。

**答**

「落雪危険空き  
家」等の対応  
は、解決に向けて積極  
的に取り組む。

**答**

朝日小学校の駐  
車場の整備も含  
めて、できるところか

## 朝日学校通学路の整備促進を

**答** 危険個所の解決に

積極的に取り組む

どによる拠点整備と併  
せて農業の六次化等、  
地域資源を生かした地

域の取り組みを図ってい  
く。これらの総合的な  
受け入れ態勢や環境を

整え、町の振興に繋が  
るよう取り組んでいき  
たい。

ら積極的に取り組んで  
いく。



子どもの安全安心を守る対策が急務

# 放射性物質検査はどうした

**答** 今年度は実施する

**問** 土壌等の放射性物質検査が継続されていないようだが、どうされたのか。

**答** 林道災害復旧工事、新たな災害

等により当初予定していた箇所での調査が出来なかったのは事実である。今年度はきのこ採取前に山林の放射線を測定して公表して行きたいと考える。

**問** 原発事故から4年が過ぎ、放射性物質セシウムも8割が土壌に溶け込んでいてといったデータが公表されているが、

**答** 毎年同じ場所を調査してこそ、安心安全のためのデータが出せるのではないのか。

**答** そうだと思うので地点を決め行つていきたい。

**問** 検査検体の県への提出も個人が勝手に出すのではなく、町がルール作りをして町を通じて出せないものか。

**答** 野生のきのこについては町を通じてやっていくが、その他の品目についてはその考えはなかったら、検討していきたい。



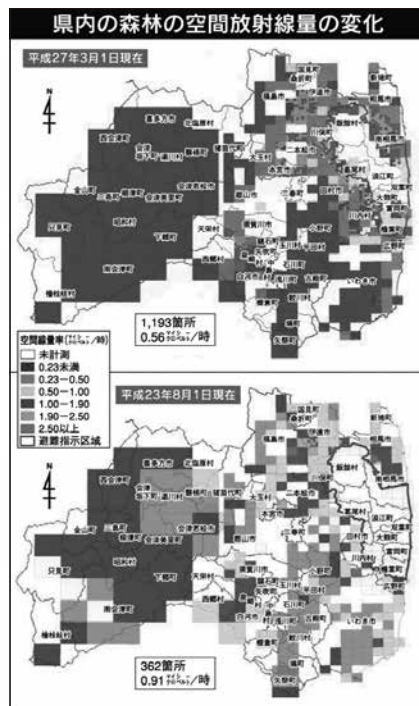
小沼 信孝 議員

継続的なデータ収集が安心安全、ひいては風評被害対策にもつながるのではないか！

議員のつぶやき

## 風評被害にどう取り組んでいるか

**答** 安心安全をPRしている



「セシウム8割土壌に降雨時の流出防止課題 年々減少示す」  
5月29日福島民報記事抜粋

**問** 風評被害対策はどの様に行っているのか。

**答** モニタリング調査結果を町のホームページ上で公表して安心安全をPRしている。

**問** 観光面では今年度宿泊キャンペーンを開始したところ2か月で予定していた助成枠1000泊に達し、観光宿泊での改善効果が表れてきたものと考えます。

**答** 効果があつたのであれば追加でキャンペーンを行う考えはないか。

**問** 予算も必要なのでは今のところは考えていない。

**答** よその地域でのキャンペーンも必要だと思うが、誘客に頑張っている地元集落に対して支援をするとか、誘客に対する問題点などの相談を聞いていく事も大切ではないかと思うが、そういった考えはないか。

**答** 支援については今のところ考えていないが、相談等については考えていきたい。

目録  
黒仁也  
議員



# 健康スポーツパーク 構想の実現を

## 【答】 意を組み一生懸命取り組む

**問** 国をあげた「地方創生」が始まった。只見町も人口減少に相当の危機感を持つて取り組む必要がある。まず、どんな組織とスケジュールで今後進めていくのか。

**答** 12月には戦略計画を示したいと思っています。事前にスケジュールや体制等を示すことはご指摘の通りであり、お示しい。

創生戦略では、ぜひ町民が夢の持てる事業を実現してほしい。

議員のつぶやき

**問** 昨年11月にユネスコエコパークを契機とした只見町新総合健康産業を創るというテーマで「スポーツパークプロジェクト」を説明されている。このプロジェクトを今回の創生戦略に位置付けるべきと考えるがどうか。

**答** 湯ら里を拠点にしたこの構想は昨年全員協議会で説明した。方針に差異はない。実現にむけ取り組んでいきたい。幅広い場の提供及び町民の健康づくりは今大切だ。医療・福祉施設が集約されている

現在の朝日地区の特性をより高めるための事業で、現在の湯ら里の機能に健康・教育などの視点を加えながら更なる活性につながるこの事業は、第三セクターの改革にもなる。

**答** 三次産業の創出にもなり、意を踏まえて一生懸命取り組む。

## 世界遺産登録推進を 戦略の目玉に

### 【答】 持続可能な地域づくりが基本

**問** 国は世界自然遺産候補地について、平成15年度19箇所だったものを平成25年度調査で5地域に絞った。奥只見・奥日光地域がその一つにあがっており、只見町は地方創生戦略で、「世界遺産登録推進事業」にいち早く手を上げていくべきだ。

**答** 情報は聞いています。今後の動きがあれば、そのこと自体になにも異存はない。地方創生も、日本列島改造論から始まり

ろいろ経過があつて今日に至っている。ユネスコエコパークに掲げた地域づくりは、「持続可能」と言うのがポイントでこれをはずさない姿勢が大切だと考えている。



町の将来を担う子どもたち



早期再開通を 5月23日、国道252号六十里越雪わり街道『只見一魚沼間』再開通記念式典が行われました。昨年より3週間ほど遅れて再開通した六十里峠通行止め期間の短縮を求めて行こう！

# ハードの建設より福祉を

## 【答】 地域の実態にあわせて検討する

**問** 先の議会、以下について「検討する」とした答弁があったが、検討結果について問う。

- ①福祉商品券を現行の倍額と範囲拡大
- ②暖房費支援の復活
- ③除雪支援事業にかかる一部負担金の軽減措置

**答** 地方創生については地方創生総合戦略の中で、地域の実態にあわせて一貫性を持って検討する。

**問** この只見町における国の地方創生の政策提案があるか聞いている。東京(国)から見た只見ではなく、

只見は只見として自信と誇りを持って生きていく。只見は東京の姥捨山になってはいけな  
い。①③の検討結果を聞きたい。

**答** ①は700万円程、②は380万円 ③は120万程度かかる。

**問** 町長は先の議会  
で「事業は財政面と制度の継続性を重視しなければならぬ」とした。しかし、目黒町政(平成20年)にな

ってからは、決算における実質収支の黒字幅が大きくなり、毎年、巨額の積立金と繰越金が計上されている。財政調整基金積み立ては4億円から11億円と増加した。これによると私が提案した事業と金額は、財政や継続性において無理とは言えない。

**答** 確かに基金保有高を伸ばした。国の財政を睨みながら、安易な財政運営はできない。しかし、厳しい町民の生活実態を踏まえれば、これを見直しすることもやぶさかではない。財源や事業の持続性を検討しながら重く受け止める。

**問** 役場庁舎建築工事の入札額が18億6000万円だった。完成までには30億円に迫るだろう。これから生まれる人や現役世代も後年度負担が発生する。

一方、毎月5〜6万円の年金で暮らしている方々がおられる。この現実を、この場で指摘しておく。

※他に「観光基盤の整備と活用方針」、「宮淵アヤマ園の管理方針」について質問しました。



さか い ゆう いち 議員 酒井 右一

現実と将来を良く見てくださいよ!

議員のつぶやき



一人暮らし世帯の除雪状況

いし  
はし  
あ  
す  
か  
石橋明日香 議員



# 町道除雪不足地域の改善を

**答** 除雪エリアを増やし改善したい

**問** 町道の除雪が足りず困っている人たちがいる。なんとか解決できないか。

**答** 町道除雪は午前7時までの通行確保を基本に行っている。豪雪時には日中除雪も行っているが、一般車両との交錯作業となることからオペレーターの精神的負担も大きい。今年度からの表彰制度で、励みしてもらいたい。除雪作業は主に地域の建設会社だが、人員不足の状況

雪国だから仕方ないではなく、将来に希望の持てる、未来を見据えた夢のある町づくりをしてほしい。

議員のつぶやき

**問** 現実問題として、除雪が足りず朝夕車が出せない、夜の帰宅時に困っている問題が起きている。新潟では24時間体制でできていることが、なぜ同じ豪雪地帯のこの町で実現できないのか。

**答** 確かに足りていないのは認める。早朝2時〜8時・9時頃まで、昼間は午後1

**問** 冬の間に行動が制限されてしまう問題をなんとかして解決してほしい。移住者誘致にも問題となる。夢のある克雪対策を考えてほしい。

**答** 町の除雪体制は改善してきており後退はしていないが、現実には問題もあるのは事実だ。しかし、日常生活では雪国での生活だという覚悟も必要だ。

**問** 豪雪対策本部ができたなら、除雪が足りなくて困っている時にそこに電話をしたら解決してくれるような対策は取れないか。

**答** 人的・条件的に厳しい。どういう方法が可能かは検討



町内道路除雪の現状

したいが、即座の対応は難しく、近所の協力をお願いするしかない。※他に「移住者を町のPRにもっと活用すること」について質問しました。



**JR只見線全線復旧など決議** 5月25日、全会津市町村で構成される会津総合開発協議会が開催され、会津縦貫道の整備や只見線の早期復旧など、会津地方17市町村の抱える地域課題を「会津を拓く重点要望事項」にまとめるとともに、復興・地域再生とJR只見線の早期全線復旧についてを本会の大会決議として、国・県及びJR東日本に要望していくこととしました。



# 只見川整備計画の説明を

## 聞いていますか

**答** 県に対し、早期実施を要望している

**問** 只見川整備計画について、町に

対してどのような説明があったのか。

**答** 平成23年新潟・福島豪雨により

流域に甚大な被害が発生したこと、阿賀川合流点から伊南川合流点までの80・5キロ

区間において、洪水防止のため、河道掘削、築堤、若しくは宅地嵩上げ等の整備を行うことにより河積を拡大し、

浸水被害防止を図るものである。

4月に河川部局より整備計画の全体説明、並びに町内域における

治水安全度の向上による被害防止対策の説明を受けている。

町民が安心して暮らせるよう、整備事業の

早期実施と河川監視体制強化の要望をしている。

**問** 町民が一番不安に

思うのは、合流点に大量に集まる「砂利」である

る。河床を上げていくこと。伊南川からの砂利を止めなければ問題は解決しないと思うが、砂利の除去はするのか。

**答** 砂利除去と伊南川からの流出を

止めることも検討しており、今後も町民の安全安心に努めていく。



新 国 秀 一 議員

町民が安心して暮らせる河川整備の早期実現を！

議員のつぶやき



只見川と伊南川の合流点

## ユネスコエコパーク登録後の効果は

**答** ブナセンターの来館者増などである

**問** ユネスコエコパーク登録後、具体的にどのような効果があったのか。

**答** ブナセンターの来館者が増える

などの効果が現れており、今年度は、経済の発展を目的とした事業に取り組みたい。浅草岳・朝日岳の整備、只見沢無料休憩所、旅行村の民家、田子倉レイクビュー改修などである

り、只見町を再訪問していただけるよう魅力づくりを行っていききたい。

また、只見ユネスコエコパークの趣旨の普及啓蒙活動を行い、町民と行政が同じ目標に向かって進んでいけるように取り組んでいく。

**問** 自然のふれあい

において、わらび園や山菜まつり等、一生懸命やっている集落や人々に対して町も寄り添って声を聞き、今後希望の持てる対策をしていただきたい。

**答** 今後そのようにしていきたいと考えている。

※他に「住民訴訟の後」、「只見ダム開放による土砂流出」について質問しました。

ガンパロウ！只見町 5月26～27日、町村議会議長・副議長研修会が行われ、全国の議長、副議長が一堂に会し「分権時代における地方議会の役割」というテーマで講演をいただきました。また、通年議会、地方創生について研修をしてきました。地方創生は非常に大事なテーマであるが、只見に合った独自の提言が必要と感じました。

藤田

力 議員



# 空き家対策審議会 委員の委嘱は

**答** 人選中である

**問** 空き家対策が大  
きな社会問題に  
なっている。只見町で  
も危険な空き家が各所  
に見られる。特に冬場  
の落雪事故が心配され  
る。事故が起きてから  
では遅い。昨年の6月  
に空き家条例が制定さ  
れた。その後の取り組  
み状況を伺う。

**答** 条例制定後、助  
言等により緊急  
措置を行った物件があ  
るが、引き続き条例に  
沿い適正に管理してい  
く。空き家の冬期間の

皆を  
「只見に移住した  
さんと意見交換会  
実施する」との答  
が一番？良かった。

議員の  
つぶやき

**問** 条例制定後、一  
年も経つのに  
「審議会委員の委嘱」  
が出来ないのはなぜか。  
いつまでに委嘱するの  
か。

**答** まだ委嘱してお  
らず、人選して  
いる。早めに委嘱して

**問** 田子倉ダムを除  
き、町内の河川  
に魚がほとんどいない  
と言われている。調査  
をして振興策を打ち出  
すことが必要と思う。

**答** 魚の姿が見えな  
いとの指摘を受  
けて魚類生息調査をす  
る予算を本年度計上し  
ている。また、災害後  
の内水面漁業振興につ  
いては、昨春秋に町内  
二漁協に今後の水産振  
興について意見を伺っ  
ている。今後も魚類生  
息調査結果を踏まえ町  
内関係漁協と協議を行  
い、必要な振興策につ  
いて検討していきたい。

**問** 早期の相談から始めた  
いと考えている。  
黒谷の町道朝日  
小学校大畑線に

隣接する建物を「管理  
不全な状態」と認識し  
ないのか。

**答** 「管理不全」と  
いうことだが、  
これは解消したいと考  
えている。

## 町内の川に魚がないのでは

**答** 生息調査を実施する

**問** 町の魚イワナ、  
お平の材料のハ  
ヤは重要な資源である。  
漁協の経営は釣り券も  
売れず厳しい。町は大  
量放流など抜本的にテ  
コ入れし「魚族資源へ  
の投資」という援助を  
すべきと考える。

**答** 伊南川での生息  
調査の結果に基  
づき、どんな振興策が  
必要か検討する。

※他に、「只見への移  
住」について質問しま  
した。



只見ダム建設前の姿を現した只見川



育て！子ども木々も 6月3日、南会津地方「育樹祭」が行なわれました。小学生と一緒に「もみじやこぶしの育樹作業」木々も子供たちも元気に育てて欲しいものです。

# 旧只見中学校を 奥会津学習センターに

## 答 候補地としても再考

**問** この建物の利活用計画が定まらないために、多くの問題を引き起こしている。

只見高校振興対策の課題である「奥会津学習センター」として、改修し活用することを提案するが、どうか。

**答** 提案内容については、昨年9月に策定した「新奥会津学習センター基本計画書」の中で、旧只見中学校も候補地として検討しており、現在、候補地と施設の規模を含めて再考している。

なお、本年度の山村

教育留学生は、全体で45人となり、奥会津学習センターの定員40人を超えているため、町内の旅館民宿などに協力をお願いしている。

下宿制度を利用している。今後、只見高校を現在のまま維持していくためには、一学年20人、全校で60人程度の留学生の受け入れが必要と想定している。親元を離れ、志を立てて只見に来てくれる生徒に、なるべく早期に快適な学習環境と生活環境を提供したいと考えている。



鈴木 征 議員

新支配人に施設運営の充実を期待したい。

議員のつぶやき



奥会津学習センター内の生活状況

## 振興公社の今後の運営は

### 答 来客者が満足される施設運営を期待

については、青少年旅行村をはじめ、歳時記念館、河井継之助記念館、そして冬期間は只見スキー場の4施設の指定管理者として各施設の管理運営に適切な対処をしていると認識している。

この4月からは新しい支配人を迎え、更なる誘客対策と来場、来客者に満足いただけるよう施設運営に努めているものと期待している。

町としては、田子倉レイクビュー、歳時記念館、青少年旅行村は、本町の観光・誘客の重要な拠点であり、只見湖、只見川兩岸の良好な景観形成を図り、ウォーキングやマラソン、サイクリング等の来訪者をはじめ、町民にとっても楽しめる周遊型観光、健康促進エリアとして充実を図っていく。

### 問

新しい支配人が就任された。当然に報酬など経費が増えると思うが、会津ただみ振興公社の運営や歳時記念館などの経営について、今後どうされるのか。

### 答

株式会社会津ただみ振興公社に

やまぎし ふみこ  
山岸フミ子 議員



# 人口減対策に注力すべき

## 答 工夫と柔軟性で対処する

### 問

若い世帯の定住に向けての取り組みでは、いくつかの進展はあったが、早急で十分な施策とはなっていない。

子育て支援の充実は5年後、10年後の町の人口推移を見れば、重要課題である。豪雪地である当町では、特別な施策が必要だ。若い世代の声をこまめに聞くことが必要ではないか。

### 答

住宅政策、雇用の支援は必要で

人口減少に対し、緊張感と機敏な対応を！

議員のつぶやき

### 答

ある。意見交換をしながら、地域の特性を活かした中身のあるまちづくりに努めたい。町内製造業や事業所の育成支援、雇用環境の改善を図っていく。ニーズに即した定住に向け、新しい事業展開も検討する。

人口増に向け、起業に対しては費用の支援など考える。人材は町外からの受け入れも検討する。

### 問

人口減に危機感を認識し、将来

不安のないよう本腰を入れて取り組む必要があると考える。子育て支援での学童保育の設置の進捗状況を問う。

### 答

学童保育問題はスタッフ、施設等の問題がある。長期に学校が休みの場合のみ、朝日小学校教室を



只見子ども教室での一コマ

### 問

使用し、試験的に行う予定としている。平成30年度を目標に一体型の保育事業を考える。子育て支援は、人口減少を克服することを目指した特別な課を設けることを提案する。保健福祉課・教育委員会の連携を望むものである。

また、人口減は只見高校の存続やJR只見線の復旧にも影響する。住民に寄り添ったきめ細やかな施策とソフト事業に十分な支援を早急に求める。

### 答

縦割り行政で合理的でない面がある。現場サイドの話し合いで工夫と柔軟性が必要である。

### 答

社会の有り様を考えながら、組織のあり方も考慮していきたい。連携をしながら組織のあり方も考慮していきたい。



地方創生の決め手は？ 6月8日、全国過疎地域自立促進連盟理事会が開催され、過疎地域の果たしている食料、水、エネルギーの供給、国土・自然環境の保全など、多面的・公益的機能は国民の共通財産として、過疎地域の住民によって保全されてきました。本町など過疎地域振興を図るため、政府予算・施策の要望を政府並びに福島県選出の国会議員に要望して廻りました。



ブナりん

# 教えて！議会のこと

Vol.4



アカシヨウちゃん

## 町の自主財源を徹底解剖！



イワッペ

只見町キャラクター ©Tadami

今回は、町のお金の話について副議長に聞いてみました。



**ブナりん** 「自主財源」って、どんなお金のこと？

**副議長** 町が独自に調達できる財源のことだよ。<sup>(※)</sup> 町税・手数料・使用料・財産収入・寄付金などがあって、町は「自主財源」と「依存財源」(国・県からのお金)で運営して、みんなの暮らしを支えているんだ。

**ブナりん** なるほど。みんなが払っているお金だけに、有効に使ってもらわないといけないね。

**副議長** そのために議会は町のお金の使い方を厳しくチェックしているんだよ。

**ブナりん** 町の人口は年々少なくなっていくけど、自主財源は大丈夫なの？

**副議長** 残念ながら自主財源は減ってきているんだ。以前は10億円以上あったものが、平成26年度には9億円台を割り込んでしまったんだよ。人口減少も大きいけど、一番大きな原因は、町内の企業(特に只見町の場合はダムを運営する会社)が納める固定資産税が年間2000万円超ずつ減少し続けていることなんだ。



**アカシヨウちゃん** それは大変だ！みんなの税金は上げずに、なんとか増やす方法はないの？

**副議長** 「河川流水占有料」と言って、河川に工作物を作ったり水を利用して収益を上げている事業者に県が徴収しているお金(約10億円)があるん

だけど、そのお金の一部を町の自主財源にできればいいなと考えていて、議会では毎年県に要望しているんだよ。



**イワッペ** 僕たちの町にある川を使ってとっているお金なら、ぜひ僕たちにも分けてほしいものだよな！

**アカシヨウちゃん** それから、寄付金というのは「ふるさと納税」もそうなんですよ？

**副議長** そうだよ！産品を返礼するようになった今年からは増えてきているようだよ。産品をもっと増やしてより魅力的なふるさと納税先になるように、議会も働きかけているよ。

**イワッペ** ところで、町の自主財源が9億円程度なのに、今年の一般会計予算で70億円も使って大丈夫なの？

**副議長** そうだね。自主財源で足りない分は依存財源があるからこそなんだ。ここ数年は災害復旧工事があって予算額が大幅に増えているけど、本来は30~40億円規模の町なんだよ。だからこそ、しっかりと議会が目を見張って、財政破たんなんということにならないようにしないとなんだよ。

### ※町税

1. 町民税(個人町民税・法人町民税)
2. 固定資産税
3. 軽自動車税
4. 町たばこ税
5. 入湯税

# 化事業(案) 議会に開示

国の制度が変わり、市のような大きな自治体だけでなく、当町のような小さな町でもしっかりと計画を立てれば、国から相応の支援を受けてコンパクトシティ（集約型の町）を整備することができるようになりました。平成26年より只見町商工会と町が連携して「只見町中心市街地活性化協議会」を立ち上げています。今回、商工会から本計画策定事業報告書が町に提出され、議会にも開示されました。

### 高齢化社会でのまちづくりの必要性

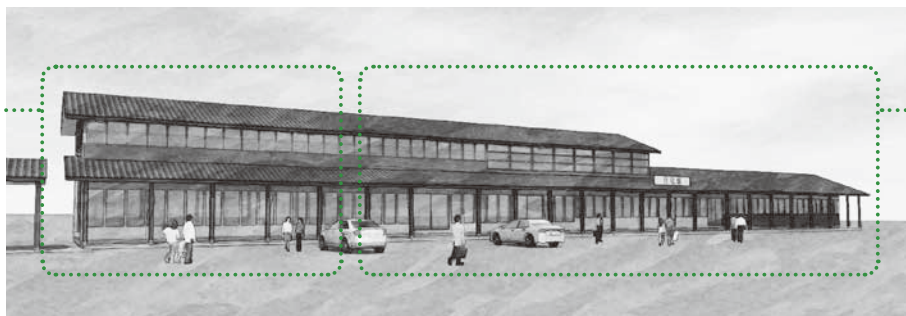
賑わいなし  
こんなに回れないっ  
公共交通 歩いて行けない

### コンパクトシティへの転換

賑わいできた(0)!  
移動しやすく、歩いて暮らせるまちづくり♪

## 只見駅を複合商業観光施設として 駅舎・鉄道資料館・観光情報施設・公共交通の起点とした施設

鉄道資料館



只見駅

イワッペ



## 町並み景観づくりとして工作物や建物の高さ、 屋根及び壁面の形状や色彩等に統一感をもった景観計画



アカシヨウちゃん



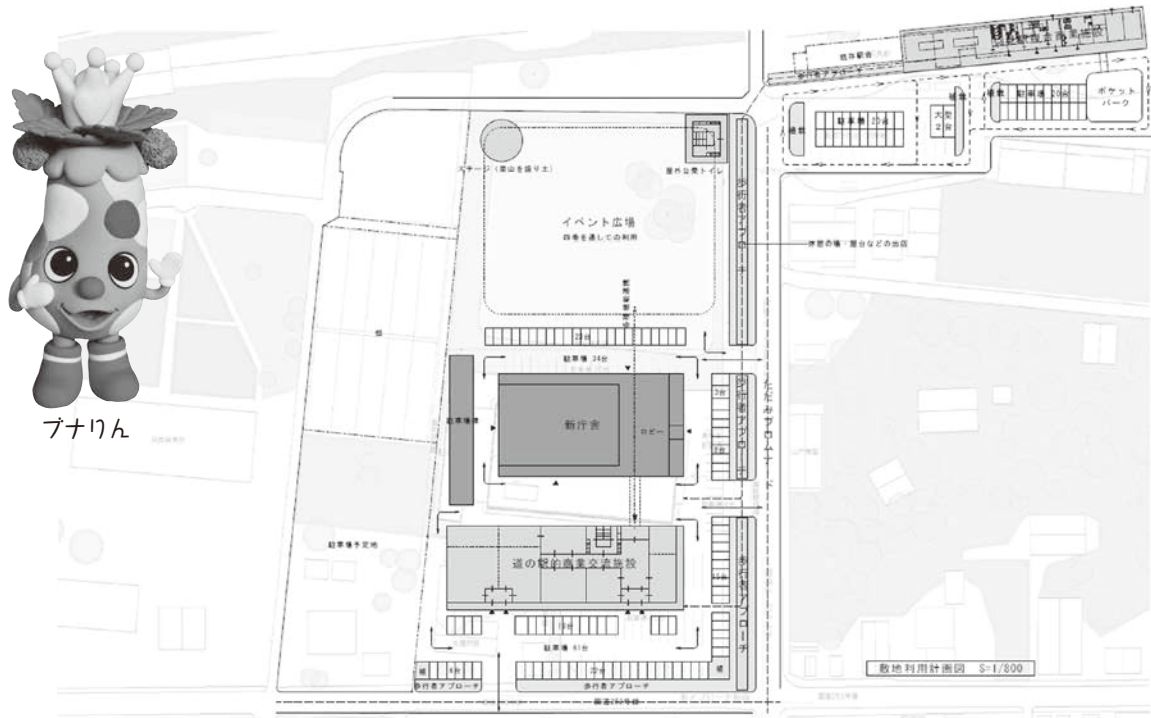
※これはあくまでも商工会が町に提出した案であり、必ずしもこの案で計画が進められるわけではありません。



**只見町議長、広域圏組合議長に選任** 6月22日、南会津地方広域市町村圏組合議会第1回臨時会が開かれ、議長選出において只見町議長の斎藤邦夫氏が選任されました。管理者に檜枝岐村長の星光祥氏、教育長に南会津町教育長の星英雄氏が任命されました。他に条例案の改正3件、財産の取得2件、人事案件2件が提案され、すべて原案の通り可決されました。

# 中心市街地活性

「只見の玄関口」である只見駅と「只見の顔」である役場を中心とした、  
国道交差点を只見町の起点と考えた提案



役場と併設された道の駅的交流商業施設である「駐車場・トイレ・休憩場所・総合ビジターセンター」  
只見を味わえる飲食店、コンビニ、薬局など多面的な交流・集客施設



※ この事業は、商工会が中心として調査・計画づくりをして町に報告し、その上で町が国に申請をする事業です。今回の只見地区の役場を中心とした商業的施設計画ですが、申請して国より採択されるにはまだまだ調査・研究が必要です。今年度も町では予算を取り、活性化協議会が活動をします。

朝日地区・明和地区でも、その地域に合った計画を立てて採択されれば継続整備できる制度なので、是非とも当局にはしっかりと取り組んでもらいたいものです。

## 自然豊かな只見町



只見中学校2年

ますだ 樹

只見町の自然、それはとても大切で素晴らしい町の財産です。

昨年6月に、この只見町はユネスコエコパークに登録されました。自然保護に力を入れ、今でもとても綺麗で広大な自然が広がっています。私は、そんな只見町をこれからもっとアピールをして、観光客や只見に住む人が増えたら良いと思います。そのために、これからも只見の良いところを自分から見つけ、伝えていきたいです。

## 只見町の伝統芸能



只見中学校2年

たかはし 高橋はるか

私の住んでいる小林では、2月には作立て祝いという伝統行事があり、早乙女踊りや神楽など、若い人たちが中心になって継承されています。

年配の人たちから若い人たちが受け継いで残していくことが地域の活性化にもなります。

只見町の中の一つの素晴らしい伝統を、将来私たち世代が担っていききたいと思います。

只見町って なじよだよ？

## 只見町の見所



只見中学校3年

きつ 勇平

只見町は、とても自然が魅力的な町です。都会とはちがって山でかまれています。只見町にはブナ林があり、とても空気が澄んでいます。川には、たくさん魚が住んでいて、私も魚が好きなので、この只見町を守っていききたいです。

ユネスコエコパークに登録されてから、只見町にすこしずつ観光客が増え、とても魅力的な町になってきました。

これからもこの只見町を守り続けていきたいです。

## 只見町の未来は八十里から



只見中学校3年

よこやま 颯

只見町の発展のためには、八十里越の早期開通が望ましいと思います。そうすることにより、只見町にもたらされる経済効果が期待され、医療・観光・娯楽などでくらしがもっと豊かになるでしょう。

さらに、只見町の豊かな自然をもっとPRできると思います。

八十里越が開通することによって、地域間の交流がもっと発展し、人と人とのつながりが大切になってくると思います。只見の未来を担える存在になりたいです。

## 編集後記

議会だより139号

で、役場新庁舎建設スタート！ 建設工事費予算14億円を議会で承認、議決と報告しました。その後の経過として、6月12日に指名競争入札が執行され、結果は入札不調（不落）となりました。それを受けて、6月19日の議会全員協議会において不落の原因を、町当局から分かりやすく説明を受けました。

今後も、広報広聴常任委員会としては「議会だより」で審議内容を分かりやすく町民に開示していきます。  
(大塚純一郎委員)

## 発行責任者

議長 齋藤 邦夫

広報広聴常任委員会

委員長 石橋明日香

副委員長 小沼 信孝

委員 山岸フミ子

大塚純一郎

中野 大徳

目黒 仁也